



## 最近の研究室

4月より、特任研究員の大野さん、11月より3回生3名が新しいメンバーとなり、総勢30名となりました。今年の加入メンバーは少ないですが、学年を問わず協力し合えるような研究室を目指し、研究活動を続けてまいります。

教授：山口、鬼頭
特任教授：古田
客員教授：三ツ木
特任研究員：大野（大阪市）
秘書：北見
D4：吉岡、田中
D3：徳増、秦、頼、李、北市、姚
D2：戸田、吉山
M2：木川、土生川、坂東
M1：井上、瀬川、崎崎、平賀、守山
B4：芦矢、工藤、武田、西垣
B3：土井、藤本、和田



集合写真

現在は、卒業論文、修士論文の執筆や、ゼミ、実験、解析等で大忙しです。また、今年からゼミの英語で実施され、研究室内の英語力向上が図られています。また、様々なポロジェクトが進行しており、大阪大学と摩擦圧接継手に関する共同研究や大阪市と此花大橋のケーブルの解析も実施しています。

## 2025年の橋梁業界・土木業界

- 1月 埼玉県八潮市にて交差点陥没事故発生
  - 4月 大阪関西万博開催
  - (夢洲北・南・東高架橋新設)
  - 8月 三井がメッシーナ海峡大橋(イタリア)の建設事業に参画
  - 9月 世界最高の橋である花江峡谷大橋(中国)が開通
  - 10月 道路橋示方書・同解説改定
  - 11月 EIIインフラシステムとEIIインフラ建設の統合
  - 12月 青森県 東方沖にて地震発生
- 改正建設業界法の全面施行

## 学外発表

JGBS

The 14th Japanese-German Bridge Symposiumが9月17日から20日まで、ドイツのTechnical University of Munich、University of the German Federal Armed Forces (Munich)にて開催され、木川(修2)、土生川(修2)、守山(修1)の3名が参加しました。また、ミュンヘンやケルンの橋梁視察を行いました。トラブルもありましたが、無事、帰国することができました。



発表の様子

橋梁視察

## ● 全国大会

9月11日、12日に熊本大学で行われた令和7年度全国大会第80回年次学術講演会に修士11名の学生が参加しました。今年はポスターを用いる発表形式となり、聴講者とコミュニケーションをとしながら研究内容を発表することができました。また、頼(博3)、土生川(修2)、木川(修2)がポスター賞を受賞しました。さらに、その後、北九州の橋梁視察も実施しました。



発表の様子

橋梁視察

## ● 関西支部

10月31日開催された土木学会関西支部に修士1年の5名が参加しました。反省点も多くみられたので、今後の発表活動に生かしていきたいです。



発表の様子

● ISSS-PSSC ISSS-PSSC 2025が韓国の済州で開催され、山口先生、李(博3)、井上(修1)が参加しました。先生は招待講演として、鋼部材の接合に関する歴史や種類に関する講演をされ、学生はこれまでの研究成果を発表しました。



発表の様子

招待講演

● 建設コンサルタンツ協会 近畿支部

11月13日に令和7年度建設コン第58回研究発表会が大阪科学技術センターで開催され、木川(修2)、坂東(修2)が参加しました。両名とも、奨励賞を受賞されました。

## ぶら土木

大学公認サークルとして活動している土木構造物見学サークル「ぶら土木」も今年で7年目となりました。

## ● 大阪モノレール南進事業

大阪モノレール株式会社様の元南進事業の軌道桁の製作現場を見学させていただきました。実際に配筋や養生の様子を見学することができ、これまで、コンクリート桁の製作過程を見学できる機会がなかったもので、順にご説明していただきとても勉強になりました。



配筋の様子



軌道桁

## ● 大阪湾岸道路西進部(六甲アイランド)現場見学

11月19日に阪神構想道路株式会社様のもと、大阪湾岸道路西進部の現場見学を行いました。事業の概要説明の後、鋼管矢板基礎の打設、アンカーフレームの設置状況、橋脚や梁の状況を見学させていただきました。普段はあまり勉強する機会がなかった基礎の勉強させていただきました。今後の進展についてもぜひ見学させていただきます。



基礎の様子



集合写真

## 最新の研究プロジェクト

### ◆ 横支持材の曲げ試験 ― ヒロセ技研

12月から守山(修1)が高張力鋼を用いた架設時に使用する横支持材を製作し、その性能について載荷実験で検討を行いました。順調に実験が進んでいます。



試験体設置状況

## ご結婚

- ・北市さん(杜博3) 4月
- ・足立さん(修2) 9月

## ご誕生

- ・吉山さん(杜博2) 9月
- ・戸田さん(杜博2) 11月
- ・森山先生(修2) 11月
- ・杉本先生(修2) 11月

## ゼミ旅行

10月18日から20日にかけて福井県にゼミ旅行に行きました。1日目は、福井県にいく道中で琵琶湖でカヌーに乗り、白髭神社に行きました。その後、メタセコイア並木を観光し、あわら温泉の宿で宴会を行いました。  
2日目は、福井恐竜博物館に行き、その後、永平寺を観光しました。  
3日目は、JEEの新手取川のリニューアルプロジェクトの現場見学を行いました。その後、BBOを行い、帰路につきました。



あわら温泉



新手取川橋



集合写真



恐竜博物館

## 卒業・修了式

3月24日に卒業・修了式が行われ、学部4年生5名、修士2回生4名、博士課程1名が卒業・修了することができました。研究室を巣立つ皆様には、研究室一同、益々のご活躍をお祈り申し上げます。



集合写真

## 陳先生が弘前大学に

研究室のOBである陳さん(77修了)が10月1日に弘前大学の助教にご就任されました。今後ますますのご活躍を、心よりお祈り申し上げます。



校門前にて

## ボーリング大会

11月22日に神戸ボーリング倶楽部で開催された関西鋼構造スポーツ大会に参加しました。結果としては、全体で3位に入賞することができ、景品としてカットブレードの詰め合わせをいただきました。また、その後、神戸大学にて懇親会が行われ、他大学の学生と交流できました。



景品授与



チーム 西武米



チーム 江田とガールズ

## ブリコン2025

Japan Steel Bridge Competition が9月11日(13日)に名古屋大学で開催され、橋梁研の修1の5名と構造研の修1の2名が参加しました。大阪・関西万博のコンセプトである「のち輝く未来社会のデザイン」を基に、つながりを意識したリボンモチーフとした「REBORN BRIDGE」を製作しました。リボンの形を表現するために、アーチ部分を3か所製作し、大阪・関西万博を意識したカラーリングが特徴です。アーチ部の曲げ加工や、横倒れの防止など、苦戦する部分が多く、前日まで修正を繰り返しながら、架設練習を行いました。その甲斐もあり、当日は架設時間を過去最長時間であることを記録することができ、特別賞を受賞することができました。製作の過程で意見が衝突することもありますが、最終的には、全員で協力して、一つのものを作り上げることができました。

## 橋梁模型コンテスト

11月8日に神戸市の橋の科学館で行われた第17回橋梁模型コンテストに、学4の4名が2チームに分かれて参加しました。チーム江田とガールズは、橋梁名は「雲海に滲む山」で、コンセプトは「逆転の美学」とし、当初の予定であった斜張橋の崩壊から発想を逆転させて構造となっています。また、チーム西武米は、橋梁名は「Canopy bridge」で、コンセプトは「木に支えられ、木とともにわたる橋」とし、チーム西武米は、見事なデザイン賞を受賞しました。少ない人数ながらも、協力し合って完成させ、両チームともコンセプトと製作過程、工夫などをしっかりと発表できたと感じています。

7月5日、橋梁工学研究室の同窓会がアウイーナ大阪で開催されました。当日は総勢100名を超えるOB・OGが参加され、会場は終始にぎやかな雰囲気にも包まれました。久しぶりの再会となる方も多く、研究室在籍時の思い出や当時の研究内容、近況報告などに話が、世代間の交流が活発に行われ、有意義な同窓会となりました。



集合写真

## 森山先生准教授昇任

11月27日、研究室のOBである徳島大学の森山先生(59年修了)の准教授昇進を祝う祝賀会が開催されました。当日は多くのOB・OGが参加し、和やかな雰囲気の中で昔話に花を咲かせました。



集合写真

## 銀杏の会

10月14日にヒルトン大阪の傳火にて、銀杏の会を行いました。修2の学生3名と山口先生、北見さんが参加され、皆で鉄板焼きを頂き、進路が決定したことへの感謝の思いをお伝えし、これからの将来について語りあいました。



集合写真

## 投稿論文一覧

〈鋼構造論文集〉  
木川(修士2)・・・無機ジンクリッチペイントを塗布した母材片側に突起を有する高力ボルト摩擦接合継手のすべり挙動に関する実験的研究  
吉岡(博4)・・・さび促進剤塗布後の養生期間に着目した高力ボルト摩擦接合継手のすべり試験  
北市(博3)・・・桁ウェブに離散配置した接合部材による主桁と鋼床版の合成挙動に対する弾性合成桁理論の適用性  
安田(修了生)・・・リブ配置に着目したリブ鋼床版の耐荷力の再評価に関する解析的検討  
徳増(博3)・・・阪神高速道路橋梁点検データに基づき鋼製高欄の損傷分析  
〈構造工学論文集〉  
吉山(博2)・・・引張力を受ける鋼トラス橋弦材のバイパス材を有する当て板補強の応力伝達機構と構造形式に関する解析的検討  
木山(修了生)・・・無機ジンクリッチペイントを塗布したS14高力ボルト摩擦接合継手の設計すべり係数に関する検討  
石黒(修了生)・・・箱断面高力スタッドボルト一面当て板補強における当て板端部のスタッド配置が力学的挙動に与える影響